

令和8年度 第1回古賀市公民館運営審議会会議録

【名 称】 令和8年度 第1回古賀市公民館運営審議会

【日 時】 令和8年6月16日(火) 19時00分～20時00分

【場 所】 リーパスプラザこが交流館 302洋室

【出席者】

公民館運営審議会委員

末次威生会長、吉田義徳副会長、

富山巽委員、梯裕子委員、山本節子委員、伊藤綾委員、

柴田智子委員、原絵美委員、岡田征和委員

事務局

教育部長 桐原誠、生涯学習推進課長兼中央公民館長 割石明日香

参事補佐兼公民館係長 坂梨美佐紀、他職員1名

【傍聴者数】 0名

【内容】

1. 開会のことば

教育部長が開会のことばを述べる

2. 会長のあいさつ

末次会長があいさつを述べる

3. 委員自己紹介

委員・事務局自己紹介

4. 付議事項

(1)リーパスプラザこが施設利用状況について

〔事務局説明〕別紙2のとおり

〔委員からの意見等〕

(委員)公民館がたって50年ぐらいになるが、その後の計画はあるか。

(事務局)今後、古賀駅周辺開発とも連携しながらリーパスプラザこがの改修を考えている。リニューアルでは、全体の建替えはないが、改修を行う予定としている。

(委員)公民館の利用者数が増加している。増えている理由が何かあるか。

(事務局)公民館については、社会実験として昨年行った2つのイベントや高校の入学式、卒業式、文化祭での利用が利用者増加要因の一つであるとする。また交流館については、徐々に活用されている方が増えてきている状況にある。

(委員)社会実験の際に、運動場が駐車場として利用することができたが、その結果を踏まえ運動場を使えるようになるのか。イベントがあると公民館の駐車場や市役所の駐車場だけでは足りないという話を聞くため、運動場が使えるようにするなど、結果はどうなったのか。

(事務局) 社会実験の結果を踏まえて、これからの活用を検討していく。

(委員) リーパスプラザこがは何かイベントをするにも駐車場がないので、駐車場をなんとかしてもらいたい。図書館と歴史資料館が一緒にあるところは、県内でもここだけである。交通の利便性も良いため、この場所は維持してもらいつつ、リーパスプラザこがをよくしてもらいたい。もっとリーパスプラザこが大ホールの観客数を増やし、集客力を高めてほしい。音響や照明などの改善も必要。

(事務局) リーパスプラザこがのリニューアルの基本計画を令和6年3月(令和5年度)に策定した。策定に当たり市民の方からのアンケート、ワークショップ、現地見学をした民間事業者さんよりお声聞いたところであり、委員が言われたとおり、約800席の大ホールに対して駐車場が少ないというご意見もあった。また、市民の皆さまからも日頃から駐車場が足りていないとお声をいただいているところである。

リニューアルは、建替えではなく改修を行っていく予定のため、現在のリーパスプラザこがの敷地内で駐車場を整備する必要がある、市民グラウンドの活用は十分考えられる。

また、近隣では、座席数が約800席のホールの規模はなく、近隣は500～600席が多い。できる限り、この規模を維持し、改修できるよう検討していきたい。

(2) 公民館系の事業について

[事務局説明] 別紙3・別紙4・別紙5のとおり

[委員からの意見等]

(委員) 分館教養学級について、令和6年度から子どもを学級生と認めているが、子どもの数が増えたことで学級数が全体的に増えたのか。また、学級の中に子どもが何人いるのか。

(事務局) 各学級の中に子どもが何人いるのかは把握していない。令和6年度と7年度の数字の変更は、取り組みを始めたところ、減少したところもあるため単純に増えたというわけではない。

(委員) 分館長・分館主事全体会開催での必要な情報提供とありますが、どのような情報提供をしたのか。地域の方が出前講座を依頼した場合、団体の出前講座を見ていただき依頼してほしいという思いがある。文化協会さんを含め団体さんのいろんな情報が散在しているが、そういう情報を伝えているのか。

(事務局) 全体会でリーパスカレッジの他にも取り組まれている出前講座の内容等を情報提供している。また、各地域でこんな活動をしたいとのご相談があれば、講師の方を紹介し地元での開催につなげるようにしている。

(委員) 出前講座の情報を見て、分館、分館主事さんからの申込みがあるのでPRになる。

(委員) リーパスカレッジで62講座中51講座が定員を上回る応募はすごいと思う一方で、広範な人に提供しているなか抽選で外れてしまう人もいるのはもったいないと思う。

地域活動に携わるなかでいつも同じ人の参加が多いため、新しい人の参画が難しい。リーパスカレッジの中で、新規の参加はどのくらいいるのか。

(事務局) 新規の方の検証はしておりません。

申込時、人気の講座は定員以上の申込があるが、講師の方に交渉し定員を増やしてもらい、多くの方に受講してもらえるようにしている。

(会長) 古賀西区では地域の活動の中で、コミュニティ活動が活発に行われている。初めて役員になる人もいる中、リーパスカレッジ等の資料を見ながら自分の地域に合う活動を、皆で相談し活動をしている。自ら動き、探し、活動することで、その活動に携わった人も充実感が味わえる。

地域の方がどれだけ動くかが、行政区公民館が活発に活動している目安になる。

5. その他

(1)各委員から

(委員) 公民館の照明が暗い。外が明るいときはよいが、曇りや雨の日は暗く、公民館から交流館へ行きたい利用者さんが迷っているため、できれば常時明るくしてほしい。

表示について、道案内が足りない。公民館から交流館へ行く人が多いが、公民館には交流館の表示はないため、ホールと交流館の位置を別に表示してもらいたい。

(委員) 7月4日(土) MUSIC FOR THE OCEAN の案内

(委員) 乳幼児と親子に係る活動の中、お母さん方がどうつながっていいかわからない、でもつながりたいという、「つなぐ」ということが大事だと実感している。古賀市以外の公民館事業に携わっている中でも、どう人達をつなぐかが一番大事なところだと言われていて、「つなぐ」ということを念頭におきながら、リーパスカレッジ等の講座も展開されるとよい。どんな講座でも、参加者がお互いに挨拶でき、顔見知りになる関係になるのが地域の中で一番大事。特に乳幼児時期のつながりが大事だと思う。お母さん方から古賀市の中で一番広々と明るく利用できるのはリーパスプラザだとの印象もあるため、公民館やリーパスカレッジの中でも「つながる」というのを真ん中に置いていただき、乳幼児親子たちのつながる機会があったらよい。

(事務局) 公民館、交流館に関しては、今後のリニューアルまで待たずに取り組めることなど対応できることは対応していきたい。また、人と人をつなぐことは生涯学習、社会教育のキーワードであると思いますので、「つながる」ことを大事にしていきたい。

(2)事務局から

・8月7日(金)福岡県公民館大会(研修)の案内

8. 閉会のあいさつ

副会長から閉会のあいさつ